

プレスリリース

2050年ゼロカーボンシティの実現を目指す

八幡平市中干プロジェクトでCO₂排出を約400トン削減

プロジェクト初年度の取り組み実績をお知らせします

【発表の要旨】

「2050年ゼロカーボンシティ」の実現を目指す本市では、今年度から、地域の農家が参加する「^(*)水稻栽培における中干し期間延長」によるJ-クレジット^(*)創出に着手。プログラム型プロジェクト^(*)「八幡平市中干プロジェクト(2025年9月認証)」を立ち上げ、カーボンニュートラルおよびサーキュラーエコノミー(循環経済)の推進を進めてきました。

この取り組みによる今年度のCO₂削減量の実績(見込み)は約400トンとなりましたのでお知らせします。

市は来年度以降の農家への参加を促すため、説明会を開催し、引き続き温室効果ガス削減を促進していきます。

1 7年度の実績

①参加農家数: 7経営体(うち法人3経営体)

②対象水田面積: 約100ヘクタール

※市内の7年度の水稲作付面積2,400ヘクタールの4.1パーセント

③取り組み初年度となった7年度のCO₂削減量: 約400トン(メタンガス換算: 16トン)

メタンガス

化学式CH₄で表される、炭素と水素からなる最も単純な炭化水素の一種。地球温暖化の主要因の一つである強力な温室効果ガスでもあり、自然界や人間活動によって発生します。

メタンガスのCO₂削減量換算

二酸化炭素(CO₂) 1トン=メタンガス(CH₄) 0.04トン

7年度の取り組みによるメタンガス削減16トン=CO₂排出削減量約400トン

2 今後(9年度)の目標

①対象水田面積: 500ヘクタール(市内水田作付面積の1/4)

②CO₂削減量: 約2,000トン(メタンガス換算: 80トン)

3 Jクレジット取引価格

日本取引所グループ(JPX)カーボン・クレジット相場

Jクレジット 農業(中干し期間の延長) 5,374円/トン(11/25現在)

※1 中干し期間延長とは

水稻栽培で、7月下旬からお盆前まで、水田の土壌内水分を減少させるために、田から水を引き、田を乾かす、水管理の技術です。

「中干し」の実施期間を従来よりも延長することで、土壌からのメタンガス排出量を抑制することができ、J-クレジットの創出方法として認められています。

※2 J-クレジットとは

省エネ設備の導入や再生エネルギーの活用等、事業者による脱炭素活動により得られたCO₂等の温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証したもの。

発行されたクレジットは他の企業等に売却することで、購入者はカーボン・オフセットに活用することができる。

※3 プログラム型プロジェクトとは

複数のCO₂削減・吸収活動を取りまとめ、1つのJ-クレジット創出プロジェクトとして登録する形態のこと。

単独ではプロジェクト登録が非現実的な小規模の削減活動も、取りまとめることでJ-クレジットを創出することが可能となる。

【参考】人の活動から排出されるCo2

CO₂: 320kg/年= CH₄: 13kg/年

【担当】

産業建設部農林課

課長補佐 高橋 潤

電話 0195-74-2111(内線1331)

申込不要

八幡平市中干プロジェクト 説明会

日時

令和7年12月15日（月）

時間

1回目 午後1時30分～午後2時30分

2回目 午後3時～午後4時

※どちらも同じ内容です

場所

八幡平市役所 大ホール

水田中干しを7日間延長すると、地球温暖化防止になり、クレジット売買による収入を得ることができます。

内 容

「八幡平市中干プロジェクト」って何？
プロジェクト参加方法について
提出書類について など

八幡平市中干プロジェクト